令和８年１１月２０日

報道機関各位

長岡市商工部産業支援課長

長岡市

小国和紙の後継者育成が始動！

後継者が技術継承への決意を市長に報告

小国和紙生産組合は、新潟県の伝統工芸品である「小国和紙※1」の技術と文化を次世代へ継承するため、長岡市伝統工芸後継者育成支援事業補助金を活用し、本年 11 月から後継者育成事業を開始しました。

このたび、技術継承に取り組む師匠と後継者が長岡市長を訪問し、今後５年間にわたる育成事業への意気込みを報告します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いします。

伝統工芸後継者育成事業　市長報告

１　日　　時　　１１月２５日（水）午前１１時３０分～正午

２　会　　場　　アオーレ長岡東棟４階　第一応接室
（長岡市大手通１－４－１０）

３　訪 問 者　　【有限会社小国和紙生産組合】
後継者　中島（なかしま）　竜一（りゅういち）　氏（プロフィールは※２のとおり）
師　匠　今井（いまい）　宏明（ひろあき）　氏
師　匠　今井（いまい）　千尋（ちひろ）　氏

４　内　　容　　（１）伝統工芸後継者育成事業の開始報告
（２）５年間の育成に向けた意気込みの発表



▲小国和紙の紙漉き作業の様子



▲小国和紙製の六角ちょうちん

※１　小国和紙
長岡市小国地域で生産される手漉き和紙です。江戸時代初期から続くとされる伝統的な製法で作られており、令和４年５月に新潟県伝統工芸品に指定されました。楮（こうぞ）を原料とした丈夫さが特徴で、障子紙をはじめ、名刺、照明、壁紙など幅広い用途に活用されています。

※２　後継者プロフィール
年　齢　38 歳　／　出身地　長岡市小国町
学　歴　長岡工業高等学校 機械科 卒業
職　歴　中島興業（左官土木、機械修理）　/ 農事組合法人よこさわ（前職）
後継者となった経緯
中島氏は、小国和紙で使用するさまざまな機械の修理・メンテナンスなど、長年にわたり裏方として小国和紙を支え、その伝統技術やものづくりへの理解を深めてきました。今井氏から後継者として声を掛けられたことを機に、これまで培った経験を生かして小国和紙の継承に携わりたいとの思いを強め、後継者育成事業への参加を決意しました。

問い合わせ：産業支援課　早川
TEL　０２５８－３９－２２２２